

認知症サポーター養成講座

多良木中学校の総合的な学習の時間に「私と多良木町の未来を拓く～今、私たちにできること～」をテーマとした認知症サポーター養成講座を3年生と先生約90名を対象に開催しました。

受講者は、認知症についての正しい知識や接し方を理解すること、「若年性」認知症についての事例紹介、認知症サポーターの役割などを学びました。また、認知症の介護者家族の体験談をつづった映像を鑑賞し、認知症の人、介護をする人の気持ちをそれぞれが考える機会となりました。

講演会の後には、「認知症について知らないことが多く勉強になった」、「認知症の人と接するときには、優しく声をかける、笑顔で話すようにしようと思った」と感想が聞かれました。また受講した生徒や先生には認知症サポーターの証としてオレンジリングが手渡されました。



老人クラブ連合会 女性部日帰り研修

町老連の女性部（尾方ヨシ子部長）は会員相互の交流と球磨人吉の歴史を学ぶことを目的に、日帰り研修を実施しました。今回は、錦町の「山の中の海軍の町にしきひみつ基地ミュージアム(人吉海軍航空基地跡)」を訪れ、飛行場や無数の地下施設を見学しました。参加した会員は、戦争末期の情勢と当時の人々の生活を肌で感じたようでした。



第2回「協議体」開催

～いつまでも元気で安心して生活できる地域づくりを目指して～

令和3年度 第2回「協議体」を開催しました。今回は、日頃の生活を送る上での「ちょっとした困りごと」を住民同士で支え合う仕組みづくりのため、生活支援サービスについて協議しました。

生活支援コーディネーターが生活支援の先進地が行う取組について説明をした後、町での生活支援サービスについて話し合いました。

協議体とは

高齢期を迎えて、生活をしていく上で困りごとを抱えても、できる限り自分で日々の生活を考えて自分らしい暮らしができる仕組みを話し合う場です。

高齢者の生活支援や介護予防サービスの充実を図るとともに、住民がお互いに支え合い、いつまでも元気で安心して生活できる仕組みづくりを推進することを目的としています。

町では、区長・民生委員・老人クラブ・介護予防を目的とするボランティア、シルバー人材センター、行政、地域包括支援センター、社協などから選出された委員で組織しています。



善意の灯

次の方々から社会福祉のためにとご寄附をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げます。福を心からお祈り申し上げます。

(敬称略・受付順)

森田 節子(故 展弘)

黒1区

徳田 俊明(故 タツヨ)

多8区の2

西 幸恵(故 節子)

多8区の1

黒木 良子(故 敏章)

多9区の1

瀧田 幸子(故 和人)

多9区の1

甲斐 緑(故 幸保)

久10区

宇佐 訓法(故 千代美)

多2区の2

小路 永修一(故 孝)

多8区の2

溝辺 武雄(故 ツル子)

多8区の1